

# 19年度の町の事業 議員が総点検

## 教育

**問** 「子どもと親の相談員」による成果は、**学校教育課主幹** 保護者から不登校に対する相談が多く寄せられた。解消に向け前進するきっかけとなった。

**問** 初めて「子ども議会」が開かれたが、どのような成果が得られたか。  
**社会教育課長** 各小学校から5、6年生の代表が3名ずつ出て、一般質問をした。議会の仕組みを知り、町のことを調べ、意見を発表する場ができた。



19年8月に行われた子ども議会

## 安全・安心

**問** 地域配備消化器の設置バランスに問題はないか。  
**地域振興課長** 配置基準はないが、自主防災組織の要望には応えたい。

**問** 駅自由通路へのAED設置が、なぜできなかったのか。  
**地域振興課長** JRに要請したが、乗降客が5万人以下では難しいとの回答であった。町としても早期設置に向けて努力していきたい。

## まちづくり

**問** 町の区画整理事業の建物移転状況は。  
**都市計画課長** 19年度、駅西地区については13棟でこれまで166棟、殿ヶ谷地区は19棟でこれまで87棟が移転した。なお、移転の進捗状況はいずれも50%程度である。

**問** 地域づくり補助金はどのように活用されたのか。  
**管財課長** 各町内会による、納涼祭、防犯パトロール、駅伝競走大会への参加や夏祭のパレードに補助金として支出した。



町内会独自で行われた防災訓練（表東町）

## 行政改革

**問** 清掃業務や保守点検業務などの委託契約は、課を越えて統括的に行うことを検討したか。  
**企画総務部長** 清掃業務は、20年度より実施された部制の中で検討していく。保守点検業務は委託契約内容によって異なるので、統括は難しい。

## 環境対策

**問** 保存樹林地の奨励金260万円はどのように活用されたのか。  
**建設課長** 二本木町と松山町の住民により、しいたけ栽培が行われた。保存樹林地の拡大や地域主体の活動を今後とも推進していきたい。

**問** 町のごみ総資源化率は多摩地域で16番目と低い。  
**生活環境課長** 本年度も総資源化率は低下した。今後、先進地の取り組みを調査研究していく。



容プラ圧縮梱包作業（リサイクルプラザ）

## 産業・観光

**問** 殿ヶ谷の大型店で地元農産物が販売されたが実績は。  
**産業振興課長** 約2,200万円の売り上げがあった。

## 税 収

**問** 町税が当初予算額よりも増えているが、主な理由は。  
**税務課長** 税源移譲に伴い、所得税から個人住民税に税率の配分が変更された事。家屋、店舗、倉庫などが増えた事による固定資産税の増など。

**問** 税の収納率向上の理由は。  
**税務課長** 19年度から滞納者宅の財産を調査し、差し押さえを行った。

## 福 祉

**問** 介護保険が予防重視の方向となったが、町の取り組みと成果は。  
**高齢者福祉課長** 「寿楽」での運動機能訓練などにより、歩行機能が回復し、外出の機会が向上した方がいるとの報告を受けている。

**問** 保育料の滞納額が約150万円となっているが。  
**福祉課長** 未納が発生したら、すぐに徴収するように改善した。19年度は前年度より9名減の22名の滞納者数となった。

**問** 都の女性がん死亡率は全国で5番目に高い。健診の受診率向上にどのように取り組んだのか。  
**保健課長** 受診対象の人数枠を拡大した。全体では受診者数は増えたが、50代女性の受診者増を図る必要があるため、一層の啓発に努める。